



お宅訪問 31 「築33年の住まいに安心と快適を」

今回は三豊市豊中町でリフォーム工事(竣工2013.7)を行なった、K様にお話を伺ってきました。

住むほどに価値と愛着が増す大切な我が家。
使いやすさと心地よさにこだわったリフォームは、
日々の暮らしを豊かに。

一どのような経緯でリフォーム工事に至ったのですか?
もともと敷地内に築33年の家と築15年の家が2つ並んで建っていたのですが、古い家は老朽化が進み、床もノリが剥がれてブカブカと浮いていました。新しい家と比べるとどうしても見劣りするし、住宅としての機能性や快適性の面を考えてもリフォームが必要だと思いました。

一なぜ、弊社をお選びいただけたのでしょうか?
地元ということもありましたし、壺谷建設さんはすてきな和風住宅をたくさん手がけていて、とてもセンスがいいと感じていたので、お願いしようと思いました。



一リフォームするにあたって、こだわった所はありますか?

古い家がとにかく寒かったので、「寒さ対策」にはこだわりました。リビングに床暖房を入れ、キッチンの内窓は冷たい外気を遮断するため2重窓に。昔ながらのタイル張りで寒かったお風呂も直してもらいました。あとは、キッチンが垂れ壁で区切られていて暗かったので、リビングと対面式にして明るくオープンなスタイルに変えました。

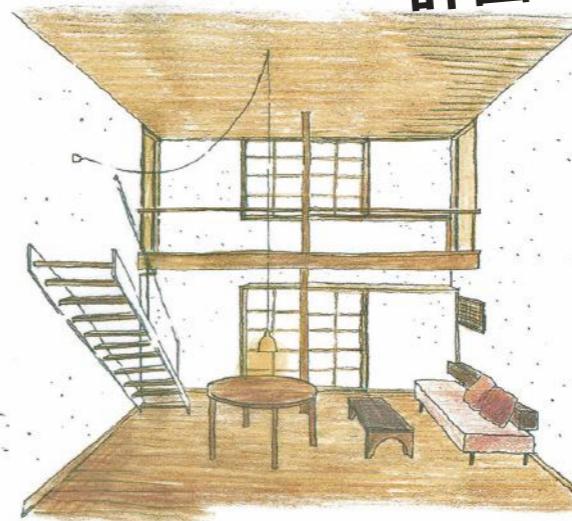
一実際、住んでみていかがですか?

主人も私も気に入っているのが、やっぱり床暖房。冬場は足元がポカポカと暖かくて気持ちがいいです。だからお客様が来てもスリッパをすすめません(笑)。そして、水回りとキッチンが回遊できる動線になったので、台所仕事をしながら洗濯機を見ることができたり、お風呂が近くなったりして、とても使いやすくなりました。また、軽く開け閉めができる吊り戸にしたのも正解。最後まで手を添えなくても、スッと自然に閉まるので便利です。

一家づくりをお考えの方にアドバイスをお願いします。

壁も塗り替えもらったのですが、我が家は昔ながらの土壁です。竹小舞で編まれた土壁は、地震に強く、耐火性もあり、調湿効果が高いので、高温多湿の日本の気候には最適。昔の人は本当に理にかなった家の作り方をしていると思います。ボードを張り合わせて簡単に建つ家が多い今だからこそ、手間を惜しまず道理にかなった日本の伝統的な家づくりも大切にしてほしいですね。

モデルハウス 計画中です!



弊社社屋での打合せ風景(昨年末)

建築家の伊礼智氏に設計を依頼しました
モデルハウスを、弊社社屋隣に建設予定です。
完成予想図はこちら!出来上がりが楽しみですね。

伊礼智氏プロフィール



建築家 伊礼 智(いれい さとし)氏

1959年 沖縄県生まれ
1982年 琉球大学理工学部
建設工学科計画研究室
卒業
1985年 東京芸術大学美術学部
建築科大学院修了
丸谷博男+エーアンドジーを経て
1996年 伊礼智設計室開設
2005年~2016年
日本大学生産工学部
建築工学科「居住空間
デザインコース」
非常勤講師

2012年~ 住宅デザイン学校 校長
現在、東京芸術大学美術学部建築科ならびに共立女子大学の非常勤講師を務めるほか、全国で講演や設計指導を行う。2006年「東京町家・9坪の家」、2007年「東京町家・町角の家」でエコビルド賞受賞、2013年、i-works projectでグッドデザイン賞他多数受賞。

住宅から家具まで、環境を考慮した設計には定評がある。

【くらしこの家】へ見学に行きました!



今回、モデルハウス建設にあたり、岐阜県の野村建設さんが伊礼氏と造園家の萩野氏とコラボしたモデルハウス「くらしこの家」へ見学に行ってきました!

余計などろにデザインを加えず、シンプルですが、洗練されたモデルハウスでした。壁ではなく造作の家具で間仕切り、隅に窓を配置することで、坪数が小さく天井高を抑えても、空間に広がりが生まれます。さらに、その地域ならではの里山の風景を取り入れられるよう、開口部が設計されているので、中と外がつながり、庭と一体となっています。また、野村建設さんでは、外皮のUA値平均が0.41ということで、高気密・高断熱の家づくりを知るため、建築中の現場も見学させていただきました。

とても勉強になった一日でした。野村建設井上社長様、伊礼さん、お忙しい中ありがとうございました!